

令和 7 年第 4 回定例会の議案に対するご意見の議会反映状況

議案第 6 1 号 いなべ市梅林公園条例の制定について

No.	議案に対する御意見	議会反映状況
1	<p>宿泊費 いなべ市民でも泊まれるような値段にすること。</p> <p>クマの被害が最近増加しているので、対策をしっかりと行って欲しい。</p> <p>アクセスが悪いのでは？もっと阿下喜駅や西藤原駅 三岐鉄道をフル活用して欲しい！</p>	<p>本議案については、議会として「市民が利用しやすい価格帯を設け、親しまれる施設にされたい。」との附帯決議（一部抜粋）を付け、議会として強く要望しました。</p> <p>熊の被害については、市民警察等から獣害対策への通報が入れば、四日市農林事務所へ連絡し現地確認等対応がされています。また、関係各部とも連携し迅速に市民広報をおこなったり、各学校、こども園等とも情報を共有しています。</p> <p>アクセスについては、今後の課題ですので、貴重なご意見として賜ります。</p>

No.	議案に対する御意見	議会反映状況
2	<p>若者の立場から、梅林公園の宿泊施設は単なる観光ではなく、いなべ市の未来への投資と捉えたいです。「野遊び SDGs」を掲げるのであれば、宿泊施設を都市部の企業や教育機関のワーケーション・研修拠点としても積極的に誘致し、関係人口の創出を目指すべきです。条例には、地元の若手起業家やクリエイターが施設を活用しやすい仕組みや、新たな特産品開発の場として機能させるための規定を盛り込むことを提案します。</p>	<p>本議案については、以下のとおり附帯決議を付け、議会として強く要望しました。</p> <p>(一部抜粋)</p> <p>山辺の暮らしの魅力に触れる体験などにおいて、広く市民参画が実現することは、市民の梅林公園に対する愛着、ひいてはまちへの愛着の醸成を促すものである。このことは藤原町の時代から築き上げてきた手作りの公園の理念を、新しい公園に継承していくことにもなる。</p> <p>よって、いなべ市梅林公園の設置及び運営にあたって、市民の福祉の増進につながる施設とすべく、以下の事項を留意されたい。</p> <p>記</p> <p>1 第1条に掲げた目的を実現するため、市民が利用しやすい価格帯を設け、親しまれる施設にされたい。特に、市内の児童・生徒が学校行事や課外授業などに利用できるキャンプ場の構築を目指すこと。</p> <p>2 山辺の暮らしの魅力に触れる体験においては、広く市民の参画を促すこと。</p> <p>3 第1条に掲げた目的を実現するため、ワーケーション、研修拠点などとして活用できるようにし、関係人口の創出を目指すこと。</p>
3	<p>県外からの観光客や、富裕層に向けた宿泊地の整備ではなく、市内の子どもたちが課外授業で宿泊できる、鈴鹿青少年の森のようなキャンプ地には出来ないのでしょうか。</p> <p>キャンプは家庭ごとで、なんてことだと、ますます他者との関わりが少なくなります。</p> <p>いなべ市に暮らす子どもたちは、そういった機会があまりにも少ないです。</p> <p>これだけ自然があるのに、自然と共存している特色がありません。</p>	
4	<p>この、キャンプ場の対象者は？市内の方も含まれますか？</p> <p>いなべ市の子ども達の野外活動やキャンプ体験を学校の行事でキャンプ場使用できたら、今、子ども達の体験格差がみられ、家庭で野外体験、キャンプをする機会がなくなってます。</p> <p>いなべの自然にふれる機会も減ってますね。</p> <p>各家庭でキャンプなんてハードル高くなってます。</p>	

議案第 66 号 令和 7 年度一般会計補正予算（第 4 号）

★認知症高齢者グループホーム整備支援事業

No.	議案に対する御意見	議会反映状況
1	<p>高齢者の認知予防を徹底的に行って欲しい。 共生社会実現に向けて、ぜひ行って欲しい。</p>	<p>いなべ市では、認知症予防を含め介護予防対策としてさまざまな事業に取り組んでいます。また、共生社会の実現を目指し、地域の福祉委員会を中心に課題や困りごとの把握、解決に向けた話し合い、見守り活動ができるよう支援しています。</p> <p>いただいた御意見を参考に、施策がより充実するよう注視していきます。</p>
2	<p>認知症高齢者グループホームの整備は喫緊の課題であり、大いに賛成です。しかし、地方の課題は介護だけでなく、若い世代の流出も深刻です。整備された施設が、介護と子育てを両立できるような多世代交流型の地域拠点として機能するよう、設計段階から配慮を求めるべきです。例えば、ホーム内に地域の子どもたちが交流できるスペースを設けるなど、介護と地域コミュニティの融合を図ることで、若い世代が定着しやすい魅力あるまちづくりに繋がると考えます。</p>	<p>今回計上された補正予算では、認知症高齢者グループホームは、民間事業者が大安町地内に 1 か所、北勢町地内に 1 か所整備します。</p> <p>今回に限らず、高齢者・障がい者施設は、地域との交流を大切にしておいて事業をされています。</p> <p>いただいた御意見を参考に、様々な世代が交流できる機会が充実するよう、議会でも注視していきます。</p>
3	<p>認知症高齢者が地域で安心して生活出来るのは、？施設だけなんではないでしょうか？</p> <p>施設サービスを充実実際出来るのでしょうか？</p> <p>いなべ市だけの問題ではないですが、実際、介護職員が圧倒的に足りてない。</p> <p>施設を大きくすればするほど、悪循環。</p>	<p>いただいた御意見にある「介護職員が圧倒的に足りていない」という部分について、議会でもたびたび議論されているところです。</p> <p>現在、国をはじめ県、市でも介護職員の人材確保に向け様々な施策が示されており、大きな転換期にあると考えます。</p> <p>事業者・利用者のニーズ、課題などの観点から、今後の動向を見ながら引続き議会でも議論を進めます。</p>

No.	議案に対する御意見	議会反映状況
4	<p>介護人材が圧倒的に不足してます 施設やハード面に補助金をつぎ込むには、介護人材が不足しないという前提ですが、施設やデイサービスだけでは、これから来る少子高齢化社会を乗り切れるのか？疑問です。 公的支援、介護保険制度等一般市民さんがどこまで知ってるのか？会社でも、介護休暇等使える制度について、社員さんがどこまで知ってるのか？ 制度支援等の啓発も強化していただきたいです。いろいろセーフティネットはあるのですが、なかなか、知られてない。 若年層世代もセーフティネットについて啓発して欲しい。介護、親の介護について、なかなか直ぐに動きにくいから、普段から気軽に相談できる場所やつながりも必要ですね、行政、社協だけで対応していくのも大変かと。 市民ひとりひとりがどう、2040 年問題に立ち向かえるかですね。</p>	<p>2040 問題に立ち向かうため、「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を基に取り組んでいるところです。 この計画は、3 年ごとに高齢者、関係者、事業者などの現状や希望を聴き取り、実情を見て対策を講じていくための計画です。 今回は民間事業者が施設を整備するための支援（補助金）を支出するため、皆様の御意見をお伺いしましたが、いただいた御意見にある「介護職員の人材確保」や介護する家族の生活支援について、議会でもたびたび議論されているところです。 現在、国をはじめ県、市でも介護職員の人材確保に向け様々な施策が示されており、大きな転換期にあると考えます。 いただいた御意見を参考に、施策がより充実するよう注視していきます。</p>